

「流域治水」の推進について

【契機】

- 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、近年、水害が頻発化・激甚化している。今後、気候変動の影響により、さらなる水害リスクの増大が見込まれる中、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」への転換が全国的に図られている。
- 長野県では、流域治水に係る各取組について、5か年の数値目標を設定した「長野県流域治水推進計画」を令和3年2月に策定し、計画的・集中的に進めている。

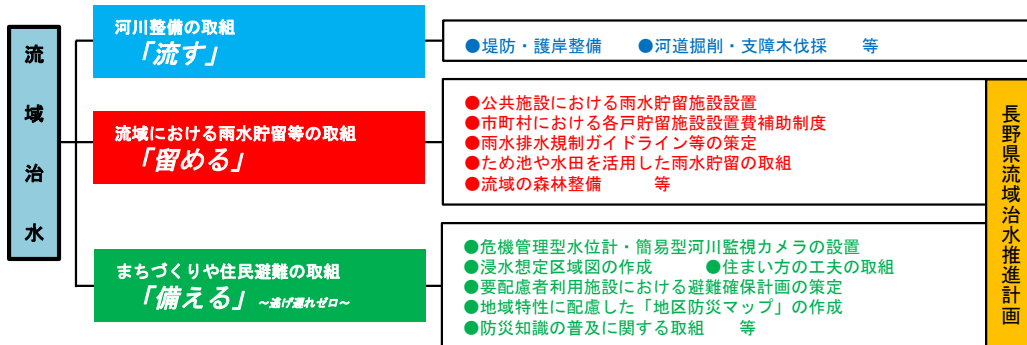


流域治水のイメージ

「長野県流域治水推進計画」(令和3年2月策定)

計画期間：令和3～7年度(5か年)

内容：計画期間内で実施する取組目標を定め「流域治水」を推進



令和3年度の主な取組

治水ONE NAGANO宣言(R3.5)

- ✓ 県と市町村が協力して「流域治水」を前に進めていく決意表明として「治水ONE NAGANO宣言」を実施。
- ✓ 阿部知事と牛越大町市長(市長会長:左)、羽田長和町長(町村会長:右)が出席



普及啓発活動

- ✓ 普及啓発CM・ミニ番組の放送(R3.6～7)
- ✓ 流域治水に関するシンポジウムの開催(R3.10)
- ✓ 流域治水グッズの配布(通年)
- (ポスター・パンフレット・ステッカー・クリアファイル・缶バッジ等)
- ✓ 県内企業への雨水貯留タンク設置協力依頼(通年)など



※目標数は「R3～R7の5か年に実施する目標数値」を示す

公共施設における雨水貯留浸透施設設置

【県有施設における雨水貯留タンク設置】
目標数:439基 ⇒ **実施済:89基**

【市町村の所有する施設での雨水貯留浸透施設設置】
目標数:77市町村 ⇒ **実施済:29市町村**



(担当:建設部)

市町村における各戸貯留施設設置費補助制度

目標数:12市町村 ⇒ **実施済:2市町村**



(担当:建設部・環境部)

ため池を活用した雨水貯留の取組

目標数:404箇所 ⇒ **実施済:212箇所**



(担当:農政部)

公共下水道(雨水)の整備

目標数:335ha ⇒ **実施済:2ha**



(担当:環境部)

排水ポンプ車の配置

目標数:2台 ⇒ **実施済:2台**



(担当:建設部)

危機管理型水位計の設置

目標数:10基 ⇒ **実施済:10基**



(担当:建設部)

簡易型河川監視カメラの設置

目標数:100基 ⇒ **実施済:100基**



(担当:建設部)

学校における避難確保計画の作成と避難訓練の実施

目標数:21校 ⇒ **実施済:27校**



(担当:教育委員会)

信州防災アプリ登録者数

目標数:100,000人 ⇒ **実施済:15,200人**



(担当:危機管理部)

令和4年度の主な取組

- 公共施設における雨水貯留浸透施設設置
 - ・ 県有施設への雨水貯留浸透施設の設置
 - ・ 県有施設における雨水貯留タンク設置
 - ・ 市町村の所有する施設での雨水貯留浸透施設の設置
- シンポジウム開催、CM放送等による県民への普及啓発活動
- 排水ポンプ車の配置(諏訪建設事務所に1台)
- 浸水想定区域図の作成
- 市町村キャラバン(「雨水排水規制ガイドライン等の作成」の推進)
- 砂防ボランティアによる地域での防災教育
- 排水機場の更新・増強[農政部]
- ため池を活用した取組の支援[農政部・建設部]
- 水田貯留の普及啓発[農政部]
- 支流域の森林整備[林務部]
- 信州防災アプリ・信州防災手帳の普及拡大[危機管理部]

雨水貯留浸透施設の整備イメージ

